

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年10月06日

計画の名称	公園の長寿命化による安全なまちづくり												
計画の期間	平成30年度 ～ 平成30年度 (1年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	磐田市												
計画の目標	磐田市内の都市公園94公園中36公園について誰もが安全・安心に利用できるよう長寿命化計画の策定を行う。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	17	A	17	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標 (定量的指標) 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		0%		38%
1	磐田市の都市公園において、公園施設長寿命化計画を策定する。(長寿命化計画策定実施公園数=36公園) 長寿命化計画策定実施公園の割合 (%) 計画策定公園 (36公園) / 市内都市公園 (94公園) × 100	0%	%	38%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	磐田市	直接	磐田市	—	—	公園施設長寿命化計画策 定事業	長寿命化計画策定 36公園	磐田市	■					17		未策定
												小計					17		
												合計					17		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

磐田市都市施設整備事業評価委員会に諮り実施

事後評価の実施時期

交付期間終了後 平成31年度

公表の方法

市のホームページへの掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

これまで遊具以外の公園施設を定期的に点検をしていなかったため、今回の計画策定で健全度調査を実施し現状の把握ができ計画に反映することができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

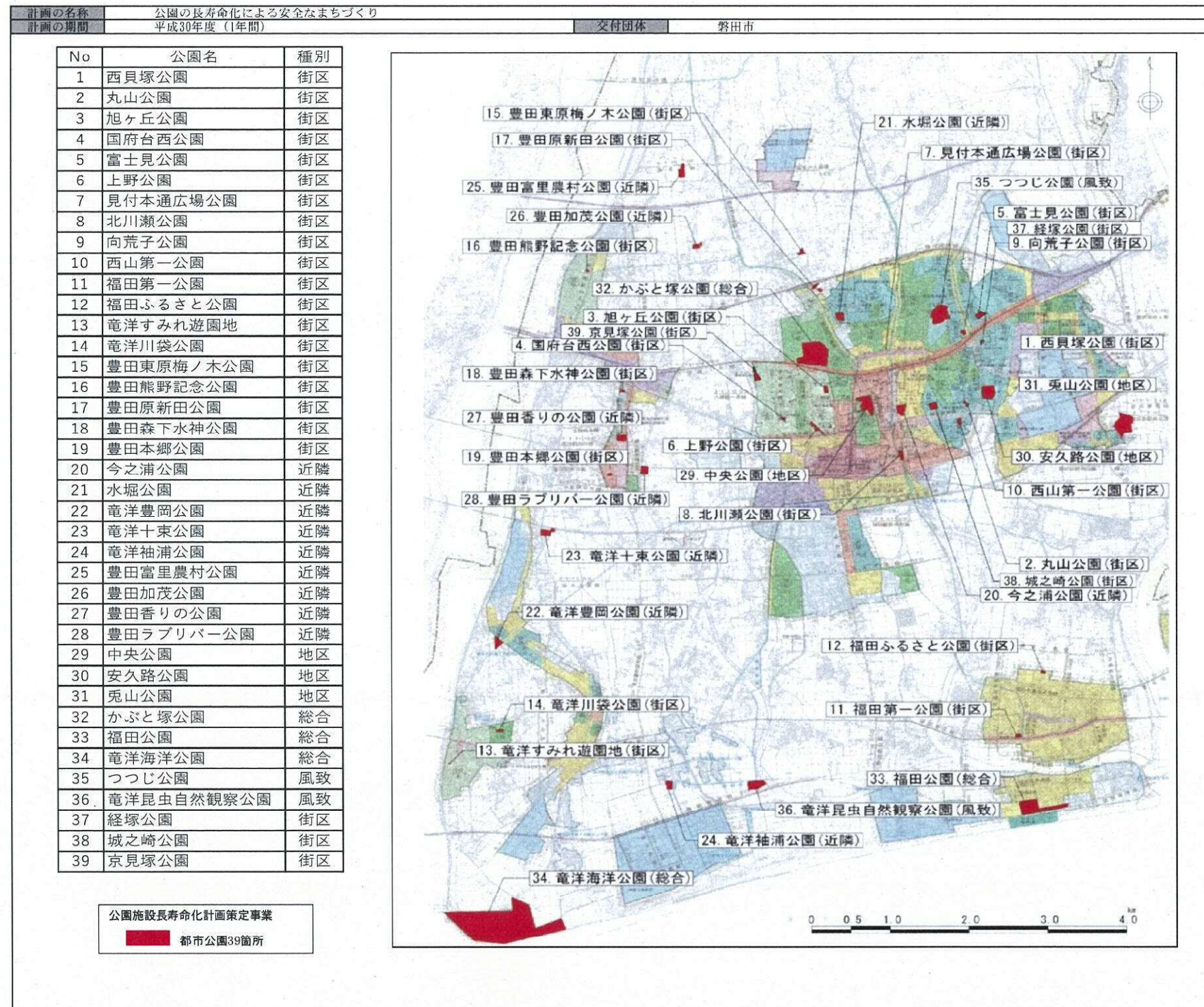
・計画を策定することによりH31年度より長寿命化支援事業への取り組みができることとなった。

○特記事項（今後の方針等）

- ・策定した長寿命化計画に基づき社会資本整備総合交付金（防災・安全交付金）の長寿命化支援事業にて老朽化した公園施設の改築や更新を行い、誰もが安全・安心に利用できる公園とする。
- ・今後の公園の活用方法についても検討を行う。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	38%
	最終実績値	41%
		磐田市の都市公園において長寿命化計画に策定する 当初36公園の計画策定を予定していたが、3公園追加し39公園の計画を策定したため。

社会資本総合整備計画 参考図面

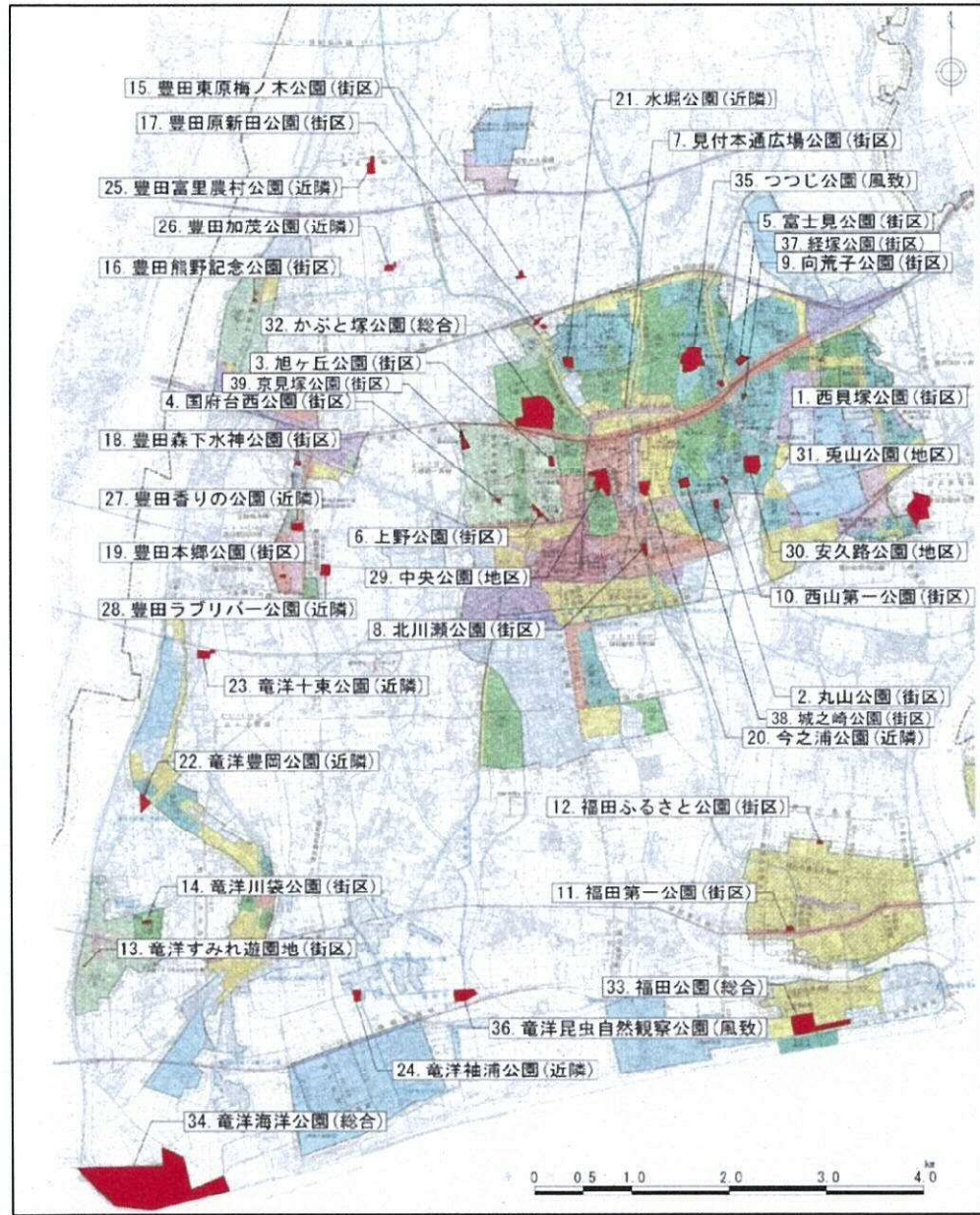


磐田市公園施設長寿命化計画概要

今後厳しい財政状況の中、公園施設の重点的・効率的な維持管理や計画的な更新投資を行っていくため、公園施設の長寿命化計画を策定しました。

○計画対象公園

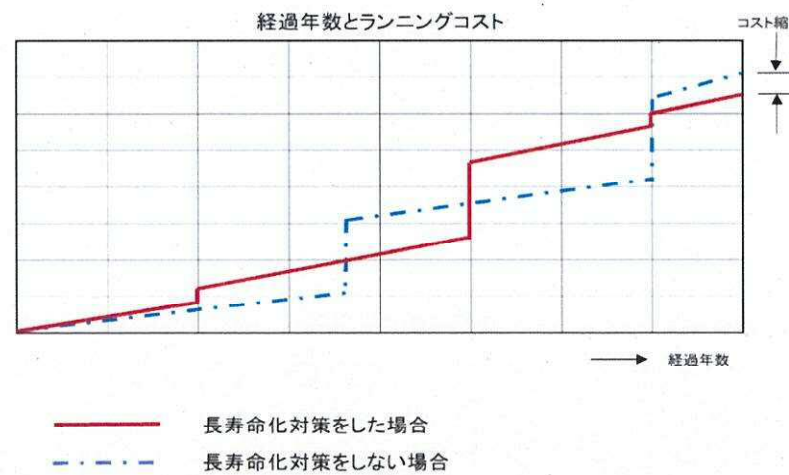
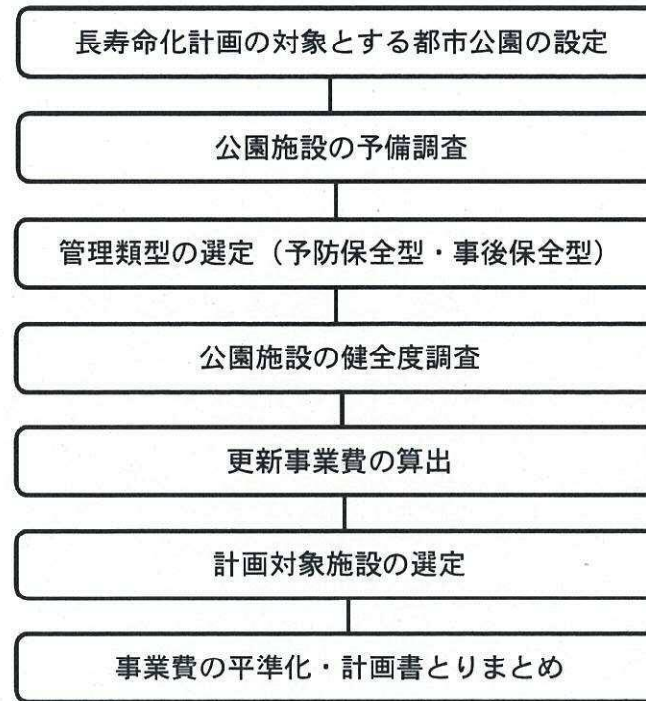
94公園のうち、複合遊具・トイレを有した、設置からの経過年数が多い39公園を対象としました。



対象公園内の施設数

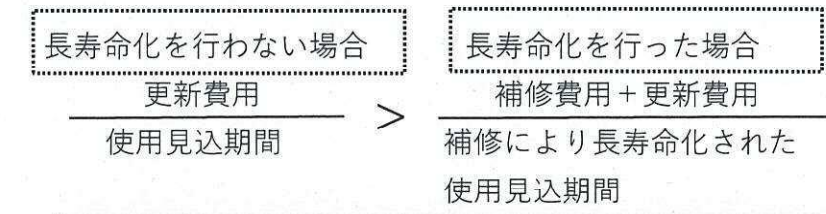
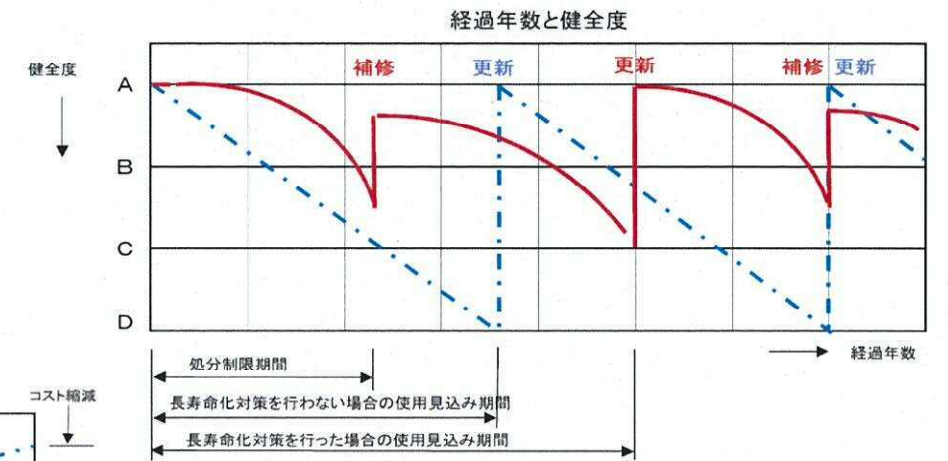
公園施設種類	園路・広場	修景施設	休養施設	遊戯施設	運動施設	教養施設	便益施設	管理施設	災害応急対策施設	その他	合計
合計	501	138	196	243	40	34	152	1,198	3	1	2,506

○長寿命化計画策定の流れ



○健全度判定評価基準

ランク	評価基準
A	全体的に健全である
B	全体的に健全だが部分的に劣化が進行している
C	全体的に劣化が進行している
D	全体的に顕著な劣化



長寿命化を行うことにより使用見込み期間内のライフサイクルコストが縮減できる
 ※事業費 50百万/年 × 10年

○計画の対象とする施設を選定

長寿命化によりコスト縮減が期待される施設、老朽化により危険度が高い施設を計画の対象とした

施設種類	計画の対象とする施設	計画の対象としない施設
園路・広場	501	園路・広場の舗装・縁石 等 501
修景施設	138 日陰だな	15 噴水等・池・月山・彫刻・飛び石 等 123
休養施設	196 四阿・パーゴラ	61 休憩所・ベンチ・野外卓 135
遊戯施設	243 全部	243 0
運動施設	40	バックネット・バスケットゴール・テニスコート等 40
教養施設	34	ステージ・デッキ・記念碑等 34
便益施設	152 トイレ	16 駐車場・水飲場・手洗場 136
管理施設	1198 照明・引込柱・時計・柵	490 側溝・排水・標識・車止め 等 708
災害応急対策施設	3	3
その他	1	展望台等 1
計	2506	825 1681